

# 益田市

## 高津川流域の将来像に向けた

### 「モーメントム」

益田市長 山本 浩章



# 益田市におけるインフラマネジメント

## 《 目 次 》

1. 自己紹介・益田市の紹介
2. 益田市の取組
3. 他自治体と連携した取組
4. 学術機関との連携
5. 発信とモーメンタム醸成



# 益田市におけるインフラマネジメント

## 1. 自己紹介

### 益田市長 山本 浩章



- 昭和44年 5月 滋賀県甲良町生まれ
- 昭和63年 3月 滋賀県立彦根東高等学校 卒業
- 平成 4年 3月 東京大学法学部第1類 卒業
- 平成10年 4月 (株)ひょうま 入社
- 平成22年12月 (株)ひょうま 代表取締役就任
- 平成23年 9月 益田市議会議員 就任
- 平成24年 3月 益田市議会議員 辞職
- 平成24年 8月 益田市長 就任 (現在4期目)

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 1. 益田市の紹介

### ○位 置

本市は、島根県の最西端に位置し  
山口県と接しており、  
北は日本海を望み、  
南は中国山地に至る、  
山陰と山陽を結ぶ  
交通の要衝地です。



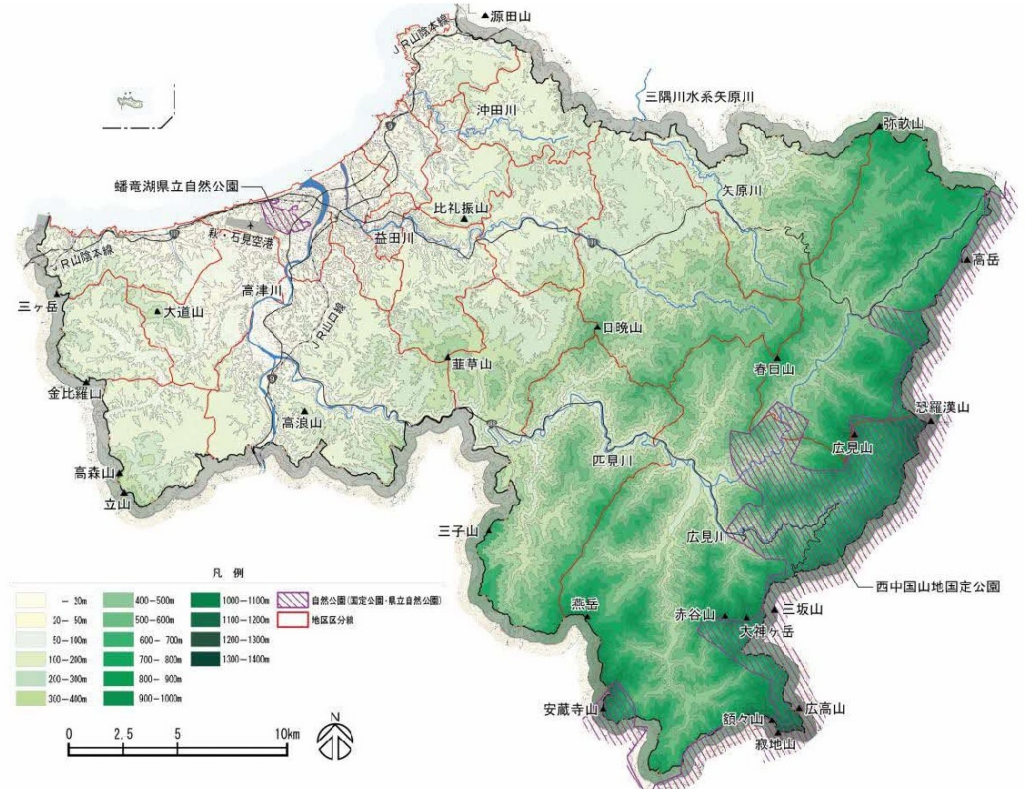
# 益田市におけるインフラマネジメント

## 1. 益田市の紹介

### ○地 勢



益田平野



#### <主な山岳>

恐羅漢山 (1346.4m)	額々山 (1279.0m)	安蔵寺山 (1263.2m)	広見山 (1186.7m)	赤谷山 (1181.0m)
大神ヶ岳 (1177.0m)	蕪岳 (1078.7m)	高岳 (1054.3m)	春日山 (989.2m)	日晩山 (743.4m)
大道山 (419.6m)	比礼振山 (358.8m)	蕪草山 (544m)	高浪山 (311m)	

#### <主な河川>

- 一級河川：高津川、高津川水系匹見川など
- 二級河川：益山川、沖山川、三隅川水系矢原川

# 益田市におけるインフラマネジメント

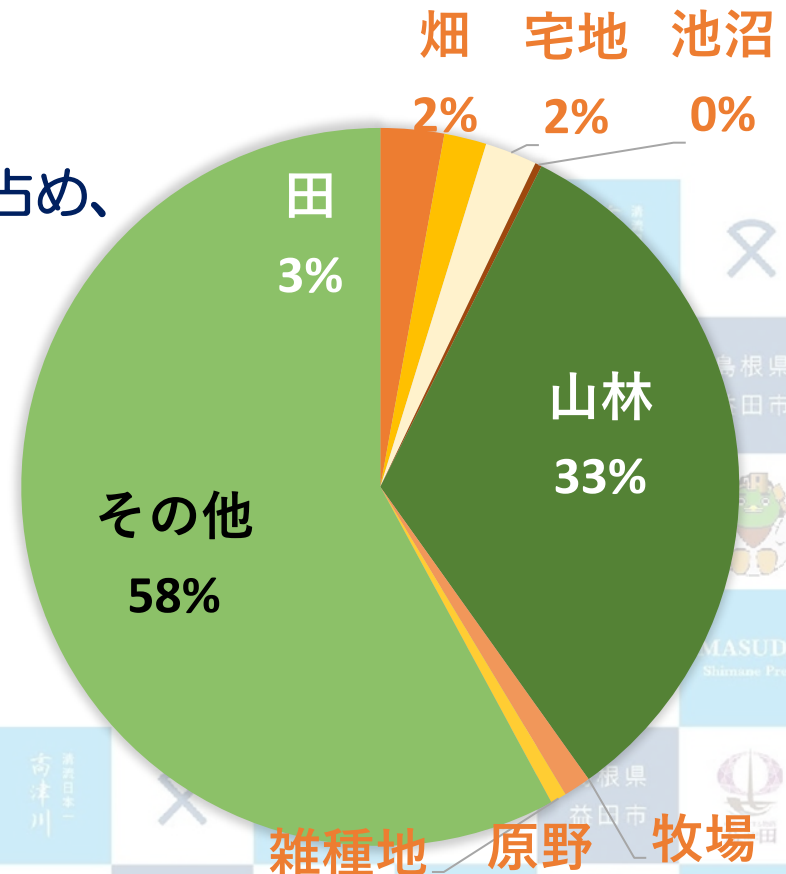
## 1. 益田市の紹介

### ○面積

面積733.19km<sup>2</sup>で、  
島根県の総面積6,707.81km<sup>2</sup>の約1割を占め、  
総面積の大半を林野が占めている。  
特に美都地域、匹見地域では  
9割近くを山林が占め、  
急峻な山々に囲まれている。

### 地目別総評価面積

(令和7年1月1日現在)



## 2. 益田市の取組

### 2-1 新技術の導入

- UAV測量・点検
- レーザートンネル点検
- 路面性状調査
- LiDAR測量

### 2-2 住民と地方公共団体の連携

- 市民投稿サービス



# 益田市におけるインフラマネジメント

## 2-1 新技術の導入

### UAV測量・点検



【従前】  
業務委託にて点検車を用いて実施

【導入後】  
UAVを用いて直営にて点検

【効果】  
直営点検によるコスト抑制  
道路規制期間の短縮による住民の負担軽減

### レーザートンネル点検



【従前】  
近接目視にて、点検車に乗り人力で打診。

【導入後】  
連続写真とレーザー測定により観測し、AI解析により図面化を自動で実施

【効果】  
点検作業の効率化によるコスト抑制  
道路規制期間の短縮による住民の負担軽減

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 2-1 新技術の導入

### 路面性状調査

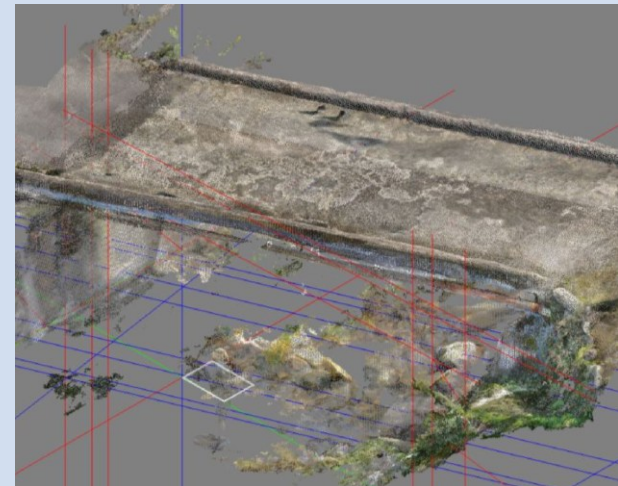


【従前】  
業務委託にて専用車両を用いて実施。

【導入後】  
日常のパトロール車にセンサーを搭載。

【効果】  
日々のパトロールを実施することで、路面性状の状況を把握できるようになった。

### LiDAR測量



【従前】  
補修箇所を巻き尺等にて計測していた。

【導入後】  
3Dモデル上にて補修箇所の数量を確認でき、発注図面の作成ができる。

【効果】  
補修設計を業務委託することなく、直営設計とした。発注準備の効率化が図れた。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 2-2 住民と地方公共団体の連携

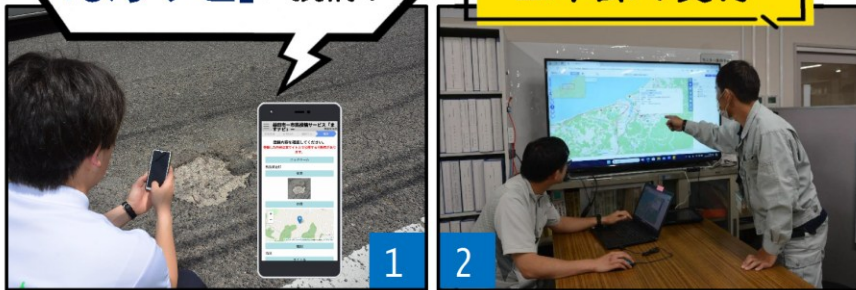
### 市民投稿サービス 「ますナビ」 ①

スマホから道路の異常を簡単送信！

# ますナビ

道路の異常を発見！  
「ますナビ」に投稿！

土木課で受付



### 市民投稿サービス 「ますナビ」 ②

現地確認・対応



対応完了！  
メールでお知らせ！



安心・安全をポケットから

市民投稿サービス「ますナビ」は、スマートフォンやパソコンから、道路に関する要望を24時間365日投稿できるサービスです。



登録はこちら！

※ 登録は無料ですが、通信料は利用者負担となります。  
※ いただいた投稿内容について、詳細確認のため市職員から連絡させていただく場合があります。

【問い合わせ先】

益田市建設部土木課 ☎0856-31-0361

住民参加型のシステムとして、要望をWEBからも受け付け。

受け付けた要望は、直営作業と業者委託と状況に合わせて対応。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3. 他自治体と連携した取組

### 3-1 高津川流域の「群マネ」

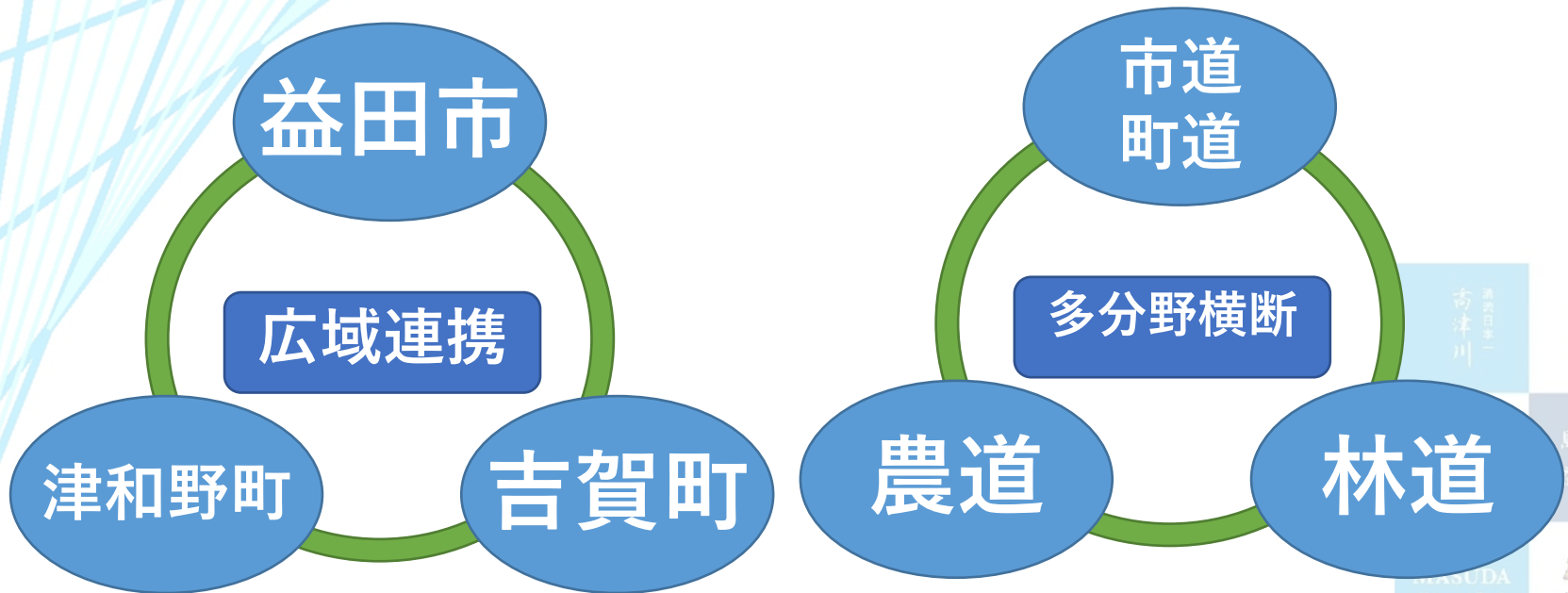
### 3-2 アセットマネジメント計画策定支援システム

(広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業)



# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3-1 高津川流域の「群マネ」



サウンディング調査

セミナー・勉強会

高津川流域橋梁点検業務  
共同企業体

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3-1 高津川流域の「群マネ」

### 益田地域インフラ群再生戦略マネジメント 推進会議



発注者・受注者とも参加した推進会議を開催。1市2町の行政職員と、地元測量設計業協会から参加。

### 益田地域インフラ群再生戦略マネジメント 「技術力の群」セミナー



土木学会 インフラメンテナンスマイスターの樋野氏より技術的な講習会を開催。受注者・発注者とも刺激を受け気運が高まる。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3-2 アセットマネジメント計画策定支援システム (広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業)

### ①メンテ点検データインポート

橋梁調書データ内の点検結果を読み取り  
システム用橋梁一覧にインポート

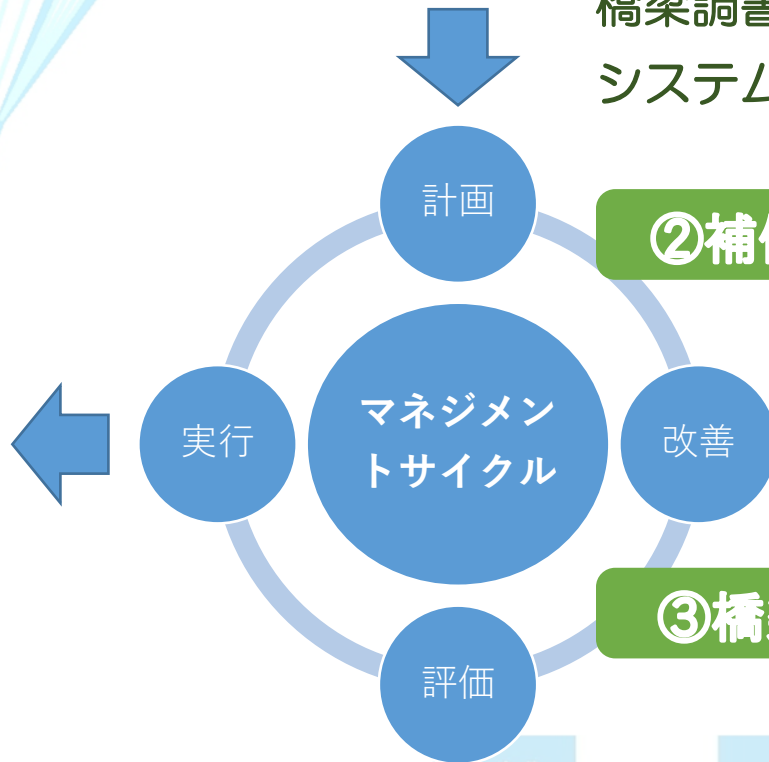
### ②補修計画シミュレーション

インポートした橋梁一覧から設定に基づき補修計画をシミュレーション  
更には、グラフで「見える化」

### ③橋梁の分析・評価

システム用橋梁一覧の橋梁の橋種等での比率、損傷原因、健全度評価を分析し評価、グラフで「見える化」

メンテナンスサイクル



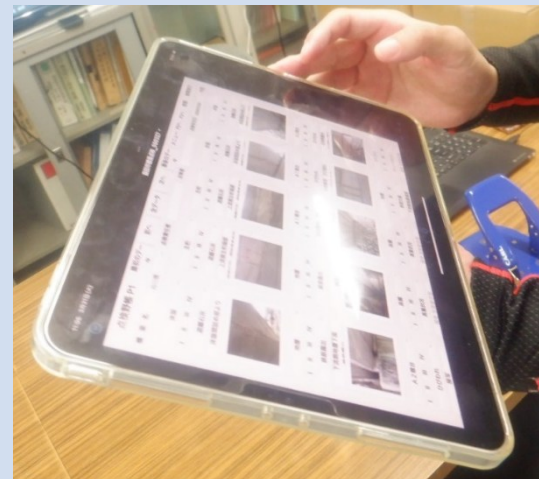
# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3-2 アセットマネジメント計画策定支援システム (広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業)

### 直営点検支援システム 画面イメージ



### 操作イメージ



益田市においては、直営点検が70%以上。一方で、職員において、内業が負担となっていた。

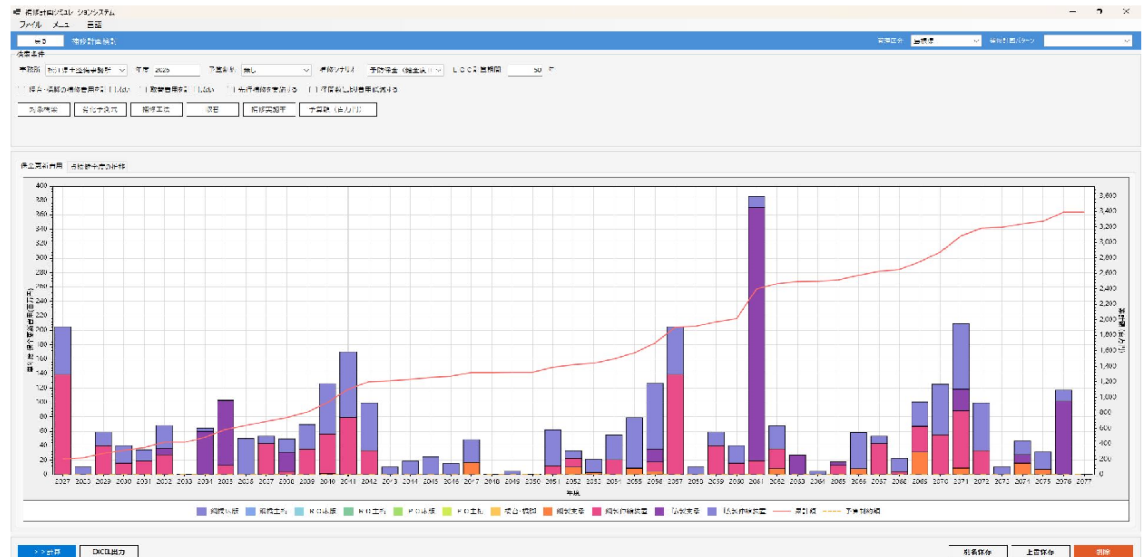
そこで、写真整理・スケッチの作業効率を上げるために、点検業務支線システムを導入。令和8年度より本格始動。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 3-2 アセットマネジメント計画策定支援システム (広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業)

益田市・津和野町・吉賀町の高津川流域の群マネを拡大するために、  
1市2町でシステムを共同利用を開始します。  
「計画策定支援システム」は、将来的に必要な費用を  
シミュレーションしマネジメントに繋がります。

「メリハリ」  
重点化と軽量化



## 4. 学術機関との連携

4-1 大阪大学大学院工学研究科  
サステイナブル・インフラ研究センター  
との連携協定

4-2 松江工業高等専門学校との連携協定



# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-1 大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターとの連携協定 「多様な主体によるインフラマネジメント」

### 大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターと島根県益田市との連携協定



相互の知見や資源を活かして連携・協力することにより、サステイナブル・インフラ研究センターにおける研究成果の社会実装と教育研究の充実および益田市におけるインフラマネジメントに関する施策の高度化を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-1 大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターとの連携協定 「多様な主体によるインフラマネジメント」

### 協定締結式



連携協定調印締結式の様子

### 学生向け講義



令和7年10月  
大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターと島根県益田市との連携協定を締結。

同日  
大阪大学大学院工学研究科にて学生に向けて講義。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-1 大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターとの連携協定 「多様な主体によるインフラマネジメント」

### 橋梁マネジメント 劣化予測

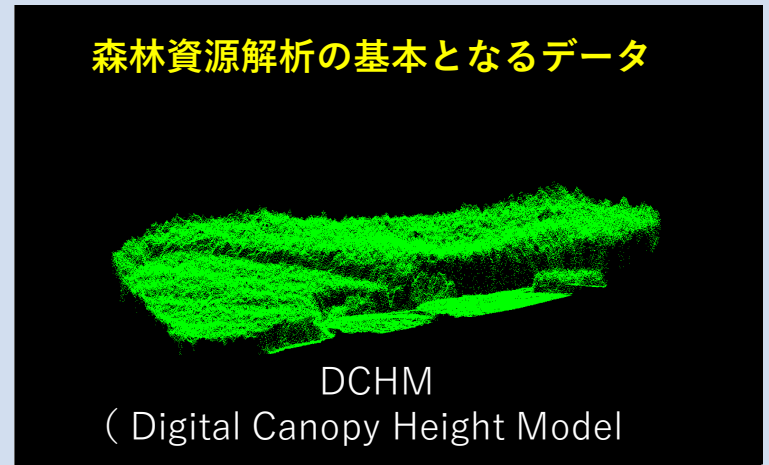


橋梁点検データより、橋梁の劣化予測をシミュレーションすることで精度の高いマネジメントを実施。  
今後、長寿命化修繕計画の改定を予定。

### 多事業との連携

#### 樹冠高データ

森林資源解析の基本となるデータ



令和8年度以降で、森林資源データとの連携や、路面性状調査のデータとの連携から「新たなサービス」の創出ができないか検討中。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-2 松江工業高等専門学校との連携協定

両者が有する人的・物的資源を活用した人材育成と地域への循環の新たなシステムの確立を目指し、地域の未来を担う「ひとづくり」を通じて地域課題の解決に取り組むことで、地域社会の振興と発展に寄与することを目的としている。

連携・協力に関する協定書調印式

市区町村長会議 基調講演



令和3年11月  
松江工業高等専門学校との連携・協力に関する協定を締結。



令和7年10月  
土木学会中国支部 大屋 誠 氏  
(松江工業高等専門学校 教授)  
基調講演「インフラ維持管理の未来」

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-2 松江工業高等専門学校との連携協定

### 松江工業高等専門学校 講義



令和7年12月  
松江工業高等専門学校にて学生に向けて  
講義。

### 成果報告会



令和8年3月  
高専生より成果報告会として益田市共同  
研究発表  
(益田市のプラトーを使用したシステム紹介)

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 4-2 松江工業高等専門学校との連携協定

### 益田市共同研究発表①

#### 02/ 避難情報の可視化



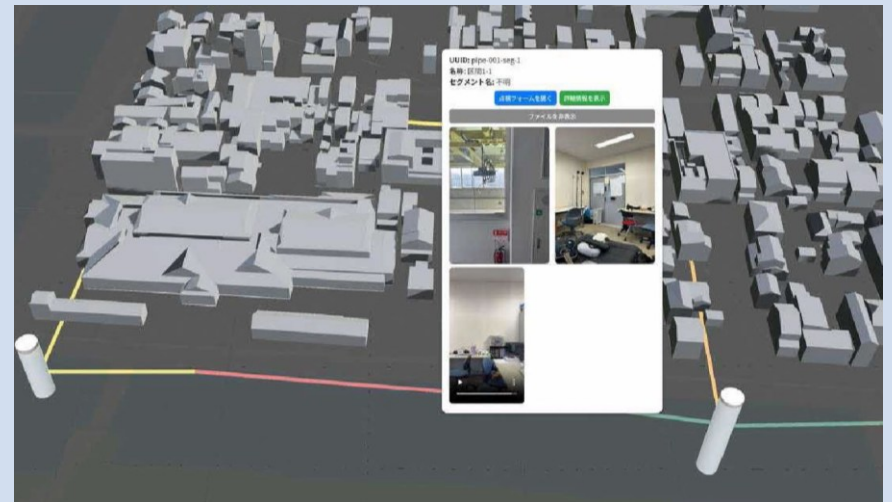
- ・避難所名
- ・収容人数
- ・避難者数
- ・混雑率
- ・災害種別

混雑率

$$\text{混雑率} = \frac{\text{許容人数}}{\text{避難者数}}$$

事前に避難所情報の理解

### 益田市共同研究発表②



PLATEAUとローカルLLMを基盤とした  
対話型情報支援プラットフォームの構築

松江工業高等専門学校  
環境・建設工学科 奥原千博

PLATEAUとCesiumJSを連携させた  
インフラ維持管理情報統合基盤の構築

松江工業高等専門学校  
大屋研究室 村田裕紀

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5. 発信とモーメンタム醸成

5-1 インフラメンテナンス国民会議

5-2 インフラメンテナンス市区町村長会議 

5-3 他自治体への情報提供

5-4 平川橋解体清祓式

IWJ  
茨・石見空港  
(IAGI IWAMI)

鳥根県  
益田市

MASUDA  
Shimane Pref.



平川橋  
清祓式



MASUDA  
Shimane Pref.

平川橋  
清祓式



MASUDA  
Shimane Pref.

IWJ  
茨・石見空港  
(IAGI IWAMI)

鳥根県  
益田市



平川橋  
清祓式



MASUDA  
Shimane Pref.

IWJ  
茨・石見空港  
(IAGI IWAMI)

鳥根県  
益田市



MASUDA  
Shimane Pref.



平川橋  
清祓式

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5-1 インフラメンテナンス国民会議

社会インフラテック

ちゅうごく 第12回 実証試験



2024年  
群マネモデル地域として、若手職員を中心に参加し、新たな見識を持ち帰り、個々の現場で活かしている。

ピッチイベントにてご紹介頂いた「橋梁の効率的な点検技術」として小規模橋梁の調査をUAVにより実施。  
以降の直営点検に経験を活かす。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5-2 インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック 企画委員

### 全国大会

#### ■ 意見発表



四国ブロック幹事  
須崎市長 楠瀬 耕作



中部ブロック幹事  
豊川市長 竹本 幸夫



中国ブロック企画委員  
益田市長 山本 浩章

令和7年度の全国大会では、中国ブロックの企画委員として意見発表。  
首長のトップダウンにて強かに推進。

### 中国ブロック会議



令和7年度の中国ブロック会議 総会を  
益田市にて開催。  
家田委員に特別講演を頂いた。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5-2 インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議 イベント開催

### 担い手育成フェア①



益田市内の小学生向けイベントを開催。土木学会、国土交通省中国地方整備局の支援のもと、模型や体験ブースを設け建設業の魅力を伝えた。

### 担い手育成フェア②



開催後、アンケートを実施した結果、多くの小学生から興味を持ってもらった。今後も小学生向けの現場見学会など検討していく。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5-3 他自治体への情報提供

### 「人の群マネ」 相互協力

岡山県



2025年7月14日  
自治体相談窓口  
岡山県の出前講座に参加し、群マネモデル地域として講演。

島根県



2026年1月  
自治体相談窓口  
島根県の勉強会に参加し、群マネモデル地域として講演。

# 益田市におけるインフラマネジメント

## 5-3 他自治体への情報提供 「人の群マネ」 相互協力

山口県



2026年2月2日  
群マネキックオフイベント  
山口県の勉強会に参加し、群マネモデル  
地域として講演。

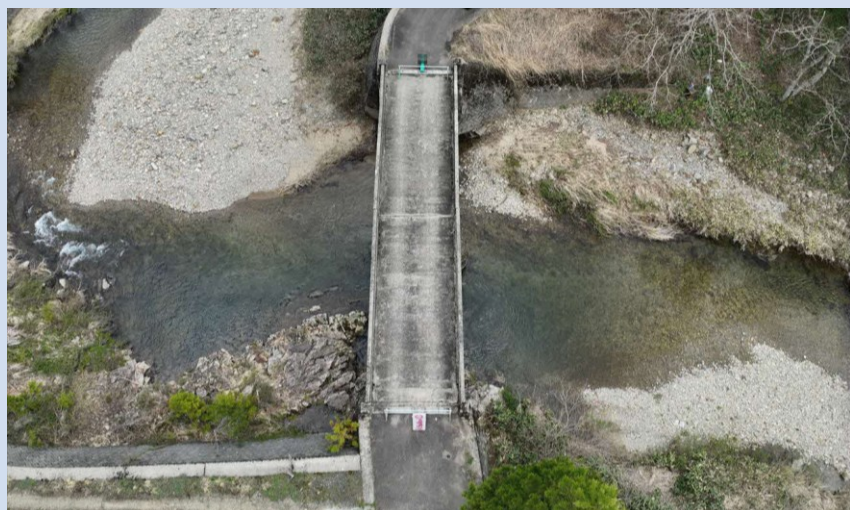
社会インフラテック



2025年12月11日  
社会インフラテック  
植野委員と群マネモデル地域が登壇した  
パネルディスカッションに参加。

## 5-4 平川橋解体清祓式 適切なインフラストック

市道平川線 平川橋



適切なストックとして、橋梁の撤去集約にも取り組んでいる。  
地元合意形成の上で、令和7年度に平川橋の撤去工事に着手。

平川橋解体清祓（きよはらえ）式



令和7年12月  
地元議員・地元住民と一緒に撤去工事の前に神事を行い、モーメンタムとなるような取り組み。

# 益田市におけるインフラマネジメント

- ▶ ご清聴ありがとうございました。
- ▶ お問い合わせは、益田市 建設部 土木課まで  
よろしくお願いいたします。

益田市 建設部 土木課

〒698-8650

住所: 島根県益田市常盤町1番1号

TEL: 0856-31-0364 FAX: 0856-22-2299

Mail: [doboku@city.masuda.lg.jp](mailto:doboku@city.masuda.lg.jp)

